

## 宮古地域での「民国連携」の取組みについて

### 1 はじめに

宮古・下閉伊地域の国有林を所管する三陸北部森林管理署とは、管内の業務担当者会議等で情報交換等を行っており、近年では共同で研修会を開催するなど積極的な連携が進んできています。そこで、当地域における、国有林との連携（「民国連携」）にかかる取組の状況について紹介します。

### 2 技術研修会の開催

平成22年度から、民国共催で技術研修会を年1回行っています。今年度は8月28日に市内の南田代国有林において、森林作業道の作設、労働災害防止等をテーマに開催しました。

参加者は、国生協、森林組合、林業事業者、振興局、三陸北部森林管理署等合わせて約90名に上り、国有林作業道の現場で作業道開設のノウハウを学習、丸太組工の施工実演を見学した後、場所を室内に移して労働基準監督署による労働安全衛生の講義を聴講しました。



技術研修会の様子

### 3 共同施業団地の検討

国有林と民有林とが一体的に施業を行うことを目的に、国有林側の制度に基づき設定する「森林共同施業団地」について、昨年度から連携の可能性を模索してきました。

今年に入り、当面は市・県有林等をメインに、9月に検討会、10月に現地調査を行いました。



検討会では図上で作業路や隣接状況、施業の計画有無等から候補地を3箇所程度に絞り、その後現地調査で林地までのアクセスや地形、林内の成立状況、路網の状況等を確認しました。

その結果、現在、路網が連絡している1箇所について、詳細の検討を進めているところです。



共同施業団地 現地調査

### 4 おわりに

民国連携は、地域の森林の効率的な管理を進める上で、有効な手段の一つだと思います。

今年度からは「岩手県森林・林業政策連絡会議」が設置され、その役割への期待がますます高まっていく中、当地域においても、より連携を深めながら取組みを継続していきたいと考えています。